

Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 リリース ノート、リリース 2.0

最終更新：2026 年 1 月 6 日

マニュアルの変更履歴

改定	日付	説明
A0	2025 年 8 月 24 日	次のサーバのリリース 向けリリース ノートを 2.0.1.250096 作成しました： <ul style="list-style-type: none">• Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー

の概要 Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー

値は、Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー は、アクセラレーション コンピューティングのための NVIDIA MGX リファレンス デザインに基づいた、拡張性、柔軟性、およびカスタマイズ可能な AI システムです。2 ～ 8 個の NVIDIA PCIe GPU と NVIDIA AI Enterprise ソフトウェアをサポートしているため、Generative AI の微調整と推論を含む幅広い AI ワークロードで高いパフォーマンスを提供します。

Cisco UCS C845A M8 サーバは、2 ～ 8 個の GPU で構成できます。構成に応じて、PCIe ベースの NVIDIA H100 NVL、H200 NVL、L40S、RTX6000 Pro、または AMD GPU MI210 から選択できます。MGX 設計の洗練により、他の次世代 NVIDIA GPU も、これらの GPU が利用可能になると、この同じプラットフォームに導入される予定です。

AMD の新たなハイエンド Turin（第 5 世代）CPU を搭載したコンピューティング ノードは、AI ワークロード向けに特別に設計されており、Cisco UCS C845A M8 AI サーバ内のボトルネックを回避するために必要な CPU または GPU 性能に対し、妥協のないソリューションを提供します。もう 1 つの利点は、NVIDIA ConnectX-7 NIC および/または NVIDIA BlueField-3 DPU を使用してサーバーを構成して、サーバーとの間のデータトラフィックを処理できることです。

NVIDIA H100 NVL または H200 NVL GPU を搭載したシステムには、NVIDIA AI Enterprise の 5 年間ライセンスが付属しています。NVIDIA AI Enterprise は、AI エージェント、生成 AI、コンピュータ ビジョン、音声 AI などを含んでいます。使いやすいマイクロサービスにより、エンタープライズレベルのセキュリティ、サポート、および安定性によってモデルのパフォーマンスが最適化され、AI で事業を展開する企業のプロトタイプから実稼働へのスムーズな移行が保証されます。詳細については、[Cisco UCS C845A M8 ラック サーバ](#)を参照してください。

Cisco UCS C845A M8 サーバが Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 REST API ガイド、リリース 2.0 (Cisco BMC 2.0) ファームウェアを搭載して出荷されます。Cisco BMC 2.0 は、マザーボードに組み込まれている独立した管理モジュールです。専用の ARM ベースのプロセッサが、メイン サーバ CPU とは別に、ファームウェアを Cisco BMC 2.0 実行します。システムには、ファームウェアの実行中のバージョンを組み込んで Cisco BMC 2.0 出荷されます。ファームウェアは更新 Cisco BMC 2.0 ですが、初期インストールは必要ではありません。

Cisco UCS C シリーズ ラック サーバーは、Windows、Linux、Oracle などのオペレーティングシステムをサポートします。デバイスでサポートされるオペレーティングシステムの詳細については、[UCS ハードウェアとソフトウェアの互換性](#)を参照してください。ポッドを使用して次のことができます Cisco BMC 2.0 KVM コンソールおよび vMedia を使ってサーバに OS をインストールするために、を使用できます。

サーバソフトウェアの概要

値は、Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 REST API ガイド、リリース 2.0 (Cisco BMC 2.0) は、以下の管理サービスです Cisco UCS C845A M8 サーバのスナップショットを作成します。Cisco BMC 2.0 はサーバ内で動作します。



(注) 値は、Cisco BMC 2.0 管理サービスは、サーバがスタンドアロンモードで動作している場合にだけ使用されます。サーバが UCS システムに統合される場合、Cisco Intersight を使用して管理する必要があります。次が表示されます: [Cisco Intersight ヘルプセンター](#)を確認して、サーバの管理方法について詳細をご覧ください。

Web ベースの GUI、SSH ベースの CLI、または REST API を使用して、サーバにアクセスし、サーバを構成、管理、モニタできます。各インターフェイスは異なる機能を提供し、各インターフェイスでサポートされているタスクについては、それぞれのコンフィギュレーションガイドで説明されています。次の操作を実行することはできません。

- 用途 Cisco BMC 2.0 GUI で呼び出す Cisco BMC 2.0 CLI。
- CLI で呼び出したコマンドを GUI に Cisco BMC 2.0 表示します Cisco BMC 2.0 GUI を使用してオンボーディングを完了します。
- 生成する Cisco BMC 2.0 GUI からの CLI 出力 Cisco BMC 2.0 GUI を使用してオンボーディングを完了します。

サポートされるプラットフォーム

次のサーバが以下でサポートされています。2.0.1.250096 以降のリリース:

- Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー

ブラウザ要件

アクセス対象 Cisco BMC 2.0 GUI にアクセスするには、Windows、Linux RHEL、および MacOS でサポートされているブラウザのいずれかの最新バージョンを使用することを推奨します。

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- Apple Safari

サポートされているオペレーティング システムの詳細については、インタラクティブな [UCS ハードウェアとソフトウェアの互換性](#) マトリックスを参照してください。

デフォルトポート

次に示すのは、サーバポートとそのデフォルトのポート番号のリストです。

ポート名	ポート番号
HTTPS	443
SSH	22
IPMI	623

ファームウェア ファイル



- (注) 常にすべてのコンポーネント BIOS、BMC、および FPGA をアップグレードします。予期しない動作の原因となる場合があるため、コンポーネント（BIOS のみ、または Cisco IMC のみ）を個別にアップグレードしないでください。BIOS と BMC のバージョンが異なるコンテナリリースからのものである場合、予期しない動作が発生する可能性があります。

リリース固有の ISO バージョンについては、「[Cisco ベースボード管理コントローラ リリースノート](#)」を参照してください

リリースのファームウェア ファイル 2.0.1.250096

値は、2.0.1.250096 ソフトウェア リリースには、次のソフトウェア ファイルが含まれます：

表 1: 2.0.1.250096 Cisco ファームウェア バンドル

CCO ソフトウェア タイプ	ファイル名
Unified Computing System (UCS) サーバファームウェア	ucsc-845a-m8-huu-2.0.1.250096.iso
Cisco UCS Server Diagnostics Utility	ucs-diag-2.0.1.250007.iso

未解決の不具合

リリースで未解決の問題 2.0.1.250096

リリースでは、次の問題が未解決です。 2.0.1.250096:

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwo53738	Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー では、KVM コンソールを使用して Ubuntu 22.04 または 24.04 ログインプロンプトで入力したときに、1 回のキーを押しても複数の文字が出力される問題を示しています。この問題は、ログイン時のホストコンソールでのキーストローク入力に影響します。	次の [DF-CS 状態 (DF-C State)] をを無効にします。 [DF-CS 状態 (DF-C State)] を無効にする方法の詳細については、次を参照にしてください 不具合の回避策：CSCwo53738 (8 ページ)	2.0.1.250096

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwd22429	FirmwarePackageVersion プロパティは、次の FHHL ネットワークアダプタに対し居て空です Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー。これにより、Redfish API を使用してクエリしたときに、FHHL スロットの PCI デバイスのファームウェアバージョンと MAC アドレスが欠落するようになります。この問題は、PCI デバイスのファームウェアバージョンの取得中に発生します。	ホストをリブートします。	2.0.1.250096
CSCwb37991	FHHL_10 DPU リンクのステータスと速度は、Redfish API 出力に表示されません。ポートが有効になっていて、信号が検出されているにもかかわらず、リンク状態および現在のリンク速度フィールドは null を返します。この問題は、FHHL 10 スロットに接続された PCI デバイスで発生します。	既知の回避策はありません。	2.0.1.250096
CSCwb27054	BMC と KVM から開始されたグレースフルシャットダウン中、システムが HUU UI に起動すると、[電源オフ (Power Off)] オプションは機能しません。	[電源オフ (Power Down)] と [電源オン (Power On)] を活用システムの電源を管理します。	2.0.1.250096

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwb91773	以下への ESXi のインストール中に、Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー Mac オペレーティングシステムからリモートでアクセスした場合、KVM を介して F11 キー ストロークを送信できず、インストールの進行が妨げられます。	デフォルトでは無効になっているので、リモートオペレーティングシステムのファンクションキーを有効にします。これにより、ESXi のインストール中に KVM を介して F11 キー ストロークを送信できるようになります。リモートシステムの設定を調整して、適切なリモートキーマッピングの機能キーをアクティブにします。	2.0.1.250096
CSCwq15755	以下は、Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー再起動後、構成されたワнтаイムブートデバイスを尊重しません。サーバはデフォルトのブート順序を使用してブートを続行し、選択されたブートオプションは無視されます。この問題は、BIOS トークンとワнтаイムブートデバイスが同時に構成されている場合に発生します。ホストは2回再起動しますが、選択したデバイスから起動することができないため、続行するには手動で起動デバイスを選択する必要があります。	BIOS トークンを構成し、一度に1つずつ起動します。	2.0.1.250096

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwb50085	次の [演算子 (Operator)] ユーザーが KVM セッションを起動した場合、[セッション管理 (Session Management)] ページで、権限レベルが [管理者 ()] ([演算子 (Operator)] の代わり) に次のように誤って表示されます。	この問題は、機能への影響はありません。	2.0.1.250096
CSCwb55206	バージョン 1.8.19 の Ubuntu 24.04.1 で ipmitool コマンドを実行すると、 デバイスまたはリソースがビジー状態です エラーが発生する可能性があります (センサーデータにアクセスしようとする)。	次のいずれかを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • リモート管理には lanplus オプションでリモート IPMI インターフェイスを使用します。 • または、Ubuntu 24.04 または Ubuntu 22.04 で ipmitool バージョン 1.8.18 を使用します。 • または、ipmitool と互換性のある他のサポートされているオペレーティングシステムで操作します。 	2.0.1.250096

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwb08112	以下は、Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー システムの電源を再投入後、ホストのビデオ出力信号を表示する際に遅延が発生します。ホストはオンですが、KVM の表示が長時間空白のままになるため、混乱が生じます。	KVM を再起動するか、または数分間待つてから、KVM に正しいステータスが表示されるようにします。	2.0.1.250096
CSCwb91165	以下は、Cisco UCS C845A M8 ラック サーバー 「on-next boot」 オプションを使用して開始された更新が保留状態のままになり、ホスト OS の再起動後に失敗する、ファームウェアの更新の問題が発生します。ホストが OS 環境から再起動すると、ファームウェアの更新が開始されず、Redfish タスクで内部エラーが報告されます。さらに、ホスト OS の再起動後、イベントは失われます。	Web GUI で使用可能なオプションを使用するか、KVM を介して、または <code>ComputerSystem.Reset</code> Redfish API を使用して、ホストを再起動できます。	2.0.1.250096

不具合の回避策 : CSCwo53738

BIOS セットアップから

1. システムの電源を入れ、[ESC] または [DEL] キーを押して、BIOS セットアップを開始します。
2. 登録手続きを開始するには、
高度な > AMD CBS > NBIO 共通オプション > SMU 共通オプション > DF CStates
3. [DF CStates] オプションを [無効化 (Disabled)] に設定します。
4. 変更をパスワードを変更、BIOS セットアップを終了します。

Redfish インターフェイスの使用

1. ホストをオペレーティング システムで起動します。
2. 次の curl コマンドを実行して、Redfish APIを介して DF CStates 設定を更新します。

```
curl -ksu Username:Password https://10.10.10.10/redfish/v1/Systems/system/Bios/Settings -H 'content-type:application/json' -H 'If-Match:' -X PATCH -d '{"Attributes":{"CbsCmnGnbSmuDfCstates":"Disabled"}}' | jq
```

3. ホストをリブートします。



(注) このプロセス中にサーバは 2 回再起動します。

4. 自動リブート後、BIOSセットアップメニューに入り、DF CStates の値が **[無効化 (Disabled)]** に設定されていることを確認します。
5. 変更を加えずにBIOSセットアップを終了し、システムがOSまたはUEFIシェルを起動できるようにします。
6. 起動後に Redfish データが更新された DF CStates の設定を反映していることを確認します。

既知の動作と制限事項

リリース での既知の動作と制限事項 2.0.1.250096

リリースでは、既知の制限事項として次の問題があります。2.0.1.250096:

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
(CSC) 09352	入力 Cisco UCS C845A M8 ラック サーバーで、BMC の更新または再起動後、[リモート管理 (Remote Management)] ページが読み込まれるまでに数分かかります。この間、KVM 起動オプションは無効のままです。この遅延は、リモート管理機能への即時アクセスに影響しますが、ページが完全に読み込まれると解消されます。	BMC の更新または再起動後、4 ～ 5 分待って [リモート管理 (Remote Management)] ページが完全に読み込まれ、KVM 起動オプションが有効になります。	2.0.1.250096

関連資料

詳細については、次のリンクから関連資料を参照できます。

- [Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 ファームウェア ファイル、リリース 2.0](#)
- [Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 GUI 構成ガイド、リリース 2.0](#)
- [Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 CLI 構成ガイド、リリース 2.0](#)
- [Cisco ベースボード管理コントローラ 2.0 REST API ガイド、リリース 2.0](#)
- [UCS ハードウェアとソフトウェアの互換性](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。